

安心を、ひとつ上のステージへ。



TREND MICRO ビジネスセキュリティ™

インストールガイド

はじめにお読みください	2
本製品の概要	3
動作環境・使用環境を確認する	6
Bizサーバをインストールする	10
Bizクライアントをインストールする	24
基本的な設定を確認する	33
困ったときは・お問い合わせ	39

はじめに お読みください

Trend Micro ビジネスセキュリティ (以下、ビジネスセキュリティ)をお買い上げいただき、ありがとうございます。ビジネスセキュリティは、中小規模企業向けの総合セキュリティ対策製品です。社内には存在する複数のWindowsサーバ/PCのセキュリティ対策を、1台の管理サーバから集中管理できます。

本製品には、以下のガイドが付属しています。

- **readme (同梱されているCD-ROM内の.htmファイル)** : インストールの前に必ずお読みください。
- **インストールガイド(本書)** : 一番最初にご確認ください。
- **クイックスタートガイド(同梱されているCD-ROM内のPDFファイル、または別冊)** : インストールの手順と利用開始方法、製品の基本的な機能と初期設定を説明しています。インストールガイド(本書)で不明な点がある場合にご覧ください。
- **管理者ガイド(同梱されているCD-ROM内のPDFファイル)** : アップグレードや設定についてを説明しています。設定についての詳しい内容は、こちらをご覧ください。
- **トレンドマイクロ製品サポートガイド(別冊、またはPDFファイル)** : ユーザ登録の手続きと、各種サポートの内容をご紹介します(本冊子は、製品をご購入頂いたお客様にのみ提供しています)。

インストールガイドおよびクイックスタートガイド、管理者ガイドはWebページからダウンロードできます。

最新版ダウンロード

<http://www.trendmicro.co.jp/download/product.asp?productid=49>

- 本書では「Trend Micro ビジネスセキュリティ」の略称として「ビジネスセキュリティ」を使用しています。
- 本書に関する著作権は、トレンドマイクロ株式会社へ独占的に帰属します。トレンドマイクロ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態および手段を問わず、本書またはその一部を複製することは禁じられています。本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本書の記述に誤りや欠落があってもトレンドマイクロ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。本書およびその記述内容は予告なしに変更される場合があります。
- TRENDMICROは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

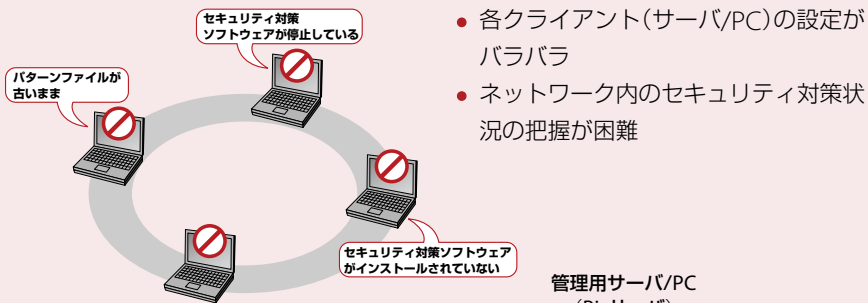
本製品の概要

ビジネスセキュリティでできること

機能の概要と特徴

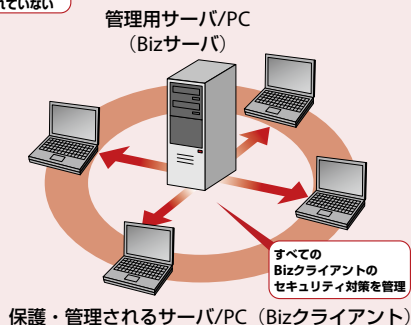
- ビジネスセキュリティは、中小規模企業向けのセキュリティ対策製品です。社内LANが構築されているオフィス内に存在する複数のサーバ/PCのセキュリティ対策を、遠隔のBizサーバ(管理用サーバ/PC)で一括管理できます。
- 1台のBizサーバ(管理用サーバ/PC)から社内内のWindows PCおよびWindowsサーバに簡単にセキュリティ対策プログラムを導入・設定できます。遠隔のBizサーバからWebブラウザの管理コンソール上で、各Windowsサーバ/PCのセキュリティ対策状況を一括設定・確認できるため、1台1台を見て回る必要がありません。
- インターネットから自動的に最新のセキュリティ対策環境に更新することができます。

セキュリティ対策が徹底できない危険な環境



セキュリティ対策が徹底した安全な環境

- 管理用サーバ/PC (Bizサーバ)から設定を一括で管理
- ネットワーク内のすべてのサーバ/PCのセキュリティ対策と管理を徹底



主な機能

機能	内容
ウイルス対策	振る舞いなどを元に検出する技術(ヒューリスティック方式)を強化することで、亜種・新種の多いポットウイルスを含む新種ウイルスへの検知力も向上しています。
スパイウェア対策	アドウェアやCookie、グレーウェアを含むスパイウェアを検知します。起動中のスパイウェアも検出・削除できます。
不正サイトへの接続ブロック	ウイルス感染サイトなどのセキュリティリスクの高い不正サイトを色で分かりやすく表示したり、アクセスする前に接続をブロックしたりします。
URLフィルタ	業務に関係ないと思われるサイトへの接続をブロックします。
迷惑メール対策	<ul style="list-style-type: none">● OutlookやWindows Mail上の迷惑メールをチェックします。● 禁止アドレスや受信禁止言語などを設定できます。
不正変更監視・挙動監視	<ul style="list-style-type: none">● プログラムの挙動を監視して、不正な変更や不審なプログラムのインストールなどをブロックします。● ルートキットの検出を行います。
不正アクセス/侵入防止	外部からの不正なアクセス、ネットワークの脆弱性をついたネットワークウイルスからの攻撃を防ぎます。
自動脆弱性診断	WindowsやMicrosoft社製品の脆弱性をチェックし、その端末を特定・通知します。
自動復旧	検出されたウイルスやスパイウェアの駆除・削除、変更されたシステムなどの復旧を自動で行います。
遠隔からの集中監視	遠隔の管理コンソールから、ネットワーク全体のセキュリティ対策状況を一括監視できます(例：更新状況や感染状況など)。
ログ・レポート自動作成機能	Bizクライアントからアップデート状況や感染・違反状況などを管理サーバ側に送信して、ログ情報を収集できます。また、ログ情報を元に特定のグラフィカルなレポートを自動で作成できます。
USB 自動実行の脅威からの保護	USB ドライブがクライアントのUSB ポートに挿入されたときに、USB ドライブ上のあらゆる自動実行ファイルが実行されないようにします。

インストールの流れ

01

動作環境・使用環境を確認する

同梱物やシステム構成イメージ、動作要件をはじめにご確認ください。

6
ページ



02

Bizサーバをインストールする

手順に従って、社内ネットワーク内全体を管理する管理サーバ/PC用のBizサーバプログラムをインストールします。

10
ページ



03

Bizクライアントをインストールする

手順に従って、守りたいサーバ/PCへBizクライアントプログラムをBizサーバからインストールします。

24
ページ



04

基本的な設定を確認する

インストールが完了したら、初期設定などの基本的な設定を確認します。

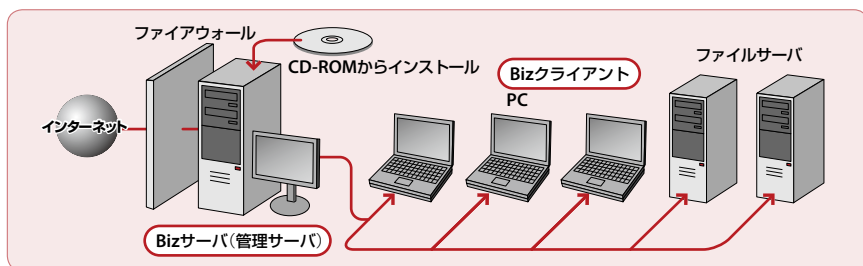
33
ページ

01 動作環境・使用環境を確認する

基本システム構成例

Bizを社内を導入する際の主なシステム構成例です。お客様の環境に合わせて構成を選んでください。

サーバがある場合：部門内サーバにBizサーバをインストール

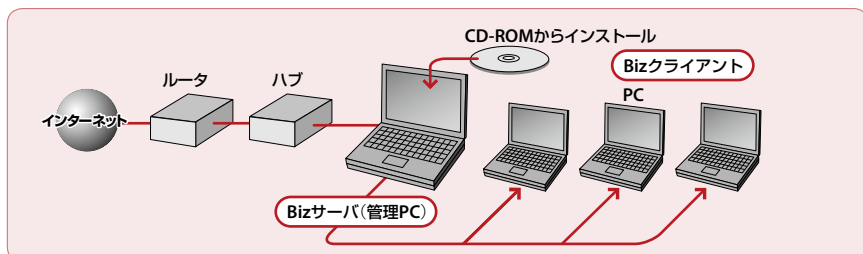


部門内サーバにBizサーバをインストールして、Bizクライアント(サーバ/PC)を遠隔から一括管理します。ファイルサーバなどの常時稼働しているサーバを独立して運用している場合は、このサーバにBizサーバとBizクライアントをインストールして管理すると便利です。

ご注意

スマートスキャン(新機能)を使用する場合は、管理サーバをご用意ください。また、管理サーバが常時クライアントと接続する環境にない場合は、従来型スキャンをご使用ください。

サーバがない場合：社内のPCにBizサーバをインストール



社内にサーバが準備できない場合などは、社内のネットワーク内のPCにBizサーバをインストールして、Bizクライアント(PC)を管理します。

ご注意

- サーバをインストールしたコンピュータ(管理コンピュータ)は常に最新版へのアップデートを実行するため、常時稼働させる必要があります。
- BizサーバをクライアントOSにインストールする場合の目安は、クライアント10台以下です(マイクロソフト社のクライアントOSに関する使用許諾契約もあわせてご確認ください)。

BizサーバとBizクライアント間の通信

ビジネスセキュリティでは、BizサーバとBizクライアントは以下の2つの通信ポートを使用して通信を行います。

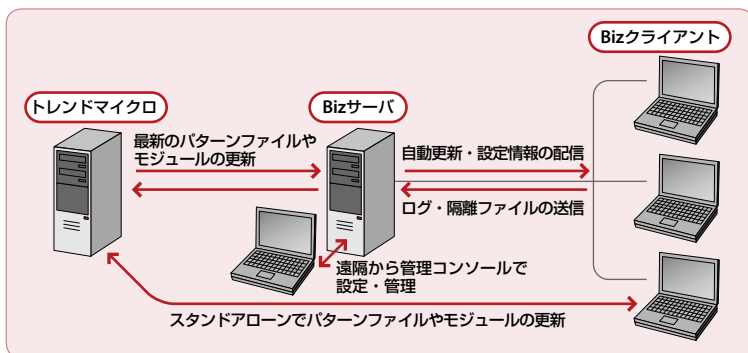
Bizサーバの待機ポート(HTTPポート)：

BizクライアントがBizサーバへアクセスする際に使用します。初期設定では、以下のいずれかを使用します。

- **IIS 既定Webサイト**：HTTPサーバのTCPポートと同じポート番号
- **IIS 仮想Webサイト**：8059 (HTTPポート)および4343 (SSLポート)
- **Apacheサーバ**：8059 (HTTPポート)および4343 (SSLポート)

Bizクライアントの待機ポート

BizサーバからBizクライアントがコマンドを受け取る際は、Bizサーバプログラムのインストール時に生成されるランダムな通信ポートを使用します。カスタムインストール時に限り、任意のポート番号を指定することもできます。ただし、インストール後にBizクライアントの待機ポートを変更することはできません(再インストールが必要になります)。



警告

ハッカーやウイルスによる攻撃の多くは、ほとんどの組織が初期設定のままHTTP通信のTCPポートとして使用している、ポート80および8080を標的としています。トレンドマイクロでは、他のポート番号を使用することをお勧めいたします。

01 動作環境・使用環境を確認する

02 Bizサーバをインストールする

03 Bizクライアントをインストールする

04 基本的な設定を確認する

インストール先コンピュータのシステム環境を確認する

ビジネスセキュリティをインストールするサーバとWindows PCが、トレンドマイクロの推奨するシステム環境を満たしているかどうか確認します。

ご注意

- 本動作要件は、BizサーバあるいはBizクライアントのインストールにあたって、Windows OSを含め最低限必要なメモリ容量およびハードディスク容量を示しています。
- システム要件に記載されているOSの種類やハードディスク容量などは、OSのサポート終了、弊社製品の改良などの理由により、予告なく変更される場合があります。最新の情報については弊社の「最新版ダウンロード」サイトにある最新のReadmeをご参照ください。

ハードウェア

Bizサーバ(管理サーバ/PC)の動作要件

CPU	x86アーキテクチャのIntel Pentiumプロセッサ、または互換プロセッサまたはx64アーキテクチャのプロセッサ (AMD64テクノロジーおよびIntel64テクノロジー対応) <ul style="list-style-type: none">● 従来型スキャンモード: Intel Pentium 4 1GHz以上● スマートスキャンモード: Intel Core 2 Duo 1.8GHz以上
メモリ	<ul style="list-style-type: none">● x86アーキテクチャのシステム: 512MB以上のRAM (1GBを推奨)● x64アーキテクチャのシステム: 1GB以上のRAM (2GBを推奨)● Windows Essential Business Server 2008またはWindows Small Business Server 2008のシステム: 4GB以上のRAM● スマートスキャンモード: 1GB以上のRAM (2GBを推奨)
HDD	<ul style="list-style-type: none">● 1.3GB以上(完全インストール)または1.5GB以上(アップグレード)の空き容量● 日常の操作には6GBを推奨 <p>* アップグレードを開始する際はより多くの空き容量が必要となりますが、ほとんどの領域はアップグレード完了後に解放されます。</p>
その他	解像度1024×768、High Colorをサポートするモニタ(ネットワーク上からBizサーバの管理コンソール経由でビジネスセキュリティを操作する場合)

Bizクライアントの動作要件

CPU	x86アーキテクチャのIntel Pentiumプロセッサ、または互換プロセッサまたはx64アーキテクチャのプロセッサ (AMD64テクノロジーおよびIntel64テクノロジー対応) <ul style="list-style-type: none">● Windows 2000、Windows Small Business Server 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Small Business Server 2003、Windows Home Serverのシステム: 450MHz以上● Windows Vista、Windows 7のシステム: 800MHz以上● Windows Server 2008、Windows Essential Business Server 2008、Windows Small Business Server 2008のシステム: 1GHz以上
メモリ	256MB以上のRAM (512MB以上を推奨) * この要件はビジネスセキュリティクライアントのみに該当するものです。お使いのPCメーカーが提示している仕様をご確認の上、OSが必要とする最小メモリ要件や実際に使用されるアプリケーションや環境を踏まえた結果の空きメモリ容量も考慮のうえお使いください。
HDD	300MB以上のハードディスク空き容量
その他	解像度800×600、256色以上をサポートするモニタ

02 Bizサーバをインストールする

インストールに必要な情報を集める

Bizサーバをインストールするために必要な情報は以下の3つです。インストールを実行する前に確認してください。

- ① アクティベーションコード
- ② Bizサーバをインストールするサーバ/PCのドメイン名/コンピュータ名またはIPアドレス
- ③ BizサーバおよびBizクライアントにアクセスする際のパスワード

① アクティベーションコード

Bizのすべての機能を使用するには、インストール時に「アクティベーションコード」を入力して、製品のアクティベーションを実行する必要があります。アクティベーションコードは同梱の使用許諾契約書に記載されています。

Bizのパッケージ版を店頭などでご購入いただいた場合は

同梱の使用許諾契約書には「レジストレーションキー」が記載されています。インストール前に、レジストレーションキーを使用してオンラインユーザ登録を行い、アクティベーションコードを入手してください。

ユーザ登録を行ってアクティベーションコードを入手する

インターネット経由でユーザ登録する「オンラインユーザ登録」と、FAXでユーザ登録する「FAXユーザ登録」があります。

● オンラインユーザ登録をする(推奨)

1. インターネット接続可能なコンピュータ上でブラウザを起動し、
<https://olr.trendmicro.com/registration>
にアクセスします。
2. 画面に表示された指示に従って、「レジストレーションキー」および必要な情報を入力します。
3. オンラインユーザ登録が完了すると、「アクティベーションコード」が発行されます。発行されたアクティベーションコードは、製品版のプログラムをインストールする際に必要です。

● FAXユーザ登録をする(オンラインで登録できない方向け)

1. 製品に同梱されたFAX登録用紙に、必要事項を記入します。
2. FAX登録用紙を送信します(FAX番号はFAX登録用紙に記載されています)。

詳しくは、購入時に同梱されている「トレンドマイクロ 製品サポートガイド」(別冊)の「ユーザ登録する」をご覧ください。

② Bizサーバをインストールするサーバ/PCのドメイン名／コンピュータ名

Bizサーバをインストールする際に、サーバの場所をドメイン名／コンピュータ名、IPアドレスで指定する必要があります。

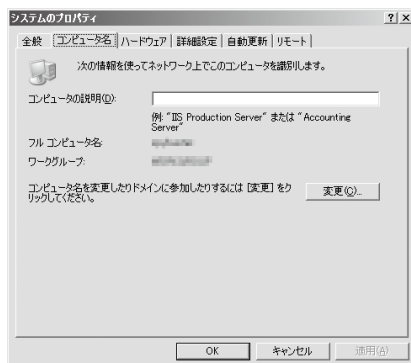
- ドメイン名／コンピュータ名とIPアドレスのどちらで登録するか、インストールする前に決めておきます。
- ドメイン名で指定する場合は、FQDN (完全修飾ドメイン名)で指定します(例：xxxxx.org.jp)。

ご注意

BizサーバのIPアドレスを後から変更する可能性がある場合は、ドメイン名／コンピュータ名で登録することをお勧めします。ドメイン名/コンピュータ名、IPアドレスの情報は、複数あるPCの中からBizサーバを識別するため必要です。

ヒント

サーバのコンピュータ名は、「マイ コンピュータ」を右クリックしてショートカットメニューから「プロパティ」を選んで表示される「システムのプロパティ」画面で確認できます。



01 動作環境・使用環境を確認する

02 Bizサーバをインストールする

03 Bizクライアントをインストールする

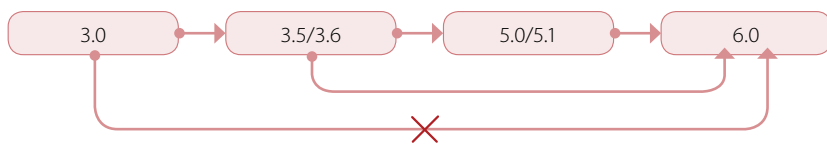
04 基本的な設定を確認する

③パスワード

- 権限のないユーザが Bizサーバの管理コンソールにアクセスすることを防止するために、管理コンソールにログオンする際に要求するパスワードを設定する必要があります。
- BizサーバとBizクライアントの両方に、それぞれパスワードを設定できます(同じパスワードを設定することもできます)。

旧バージョンからアップグレードする場合のご注意

- Biz6.0(本バージョン)では、Trend Micro ウイルスバスター ビジネスセキュリティ 3.5/3.6からのアップグレードをサポートします。ウイルスバスター ビジネスセキュリティ 3.0からビジネスセキュリティ 6.0への直接のアップグレードはできませんので、ご注意ください。
- 旧バージョンからのアップグレード手順に関しては、各バージョン付属のドキュメントまたは製品Q&Aを参照してください。



インストール方法を決定する

Bizサーバのインストールの方法として、標準インストールとカスタムインストールがあります。通常は標準インストールでインストールします。

インストールの際に、以下の条件を指定したい場合はカスタムインストールを選びます。

- Web サーバの動作環境(IISまたはApache)
- ビジネスセキュリティ におけるBizサーバ/Bizクライアント間の通信ポート
- インターネット接続用のプロキシサーバ
- Bizクライアントへのインストールパス

ご注意

インストール先のサーバにWebサーバソフトウェアがインストールされていない場合は、同梱のApache Webサーバがデフォルトでインストールされます。

Bizサーバを標準インストールする

インストールの前に

- すでに他社製のウイルス対策ソフトウェアをインストールしている場合は、削除(アンインストール)してから Bizサーバをインストールしてください。
- 実行中のアプリケーションをすべて終了してから、インストールを実行してください。他のアプリケーションの実行中にインストールすると、インストールが完了するまでに時間がかかることがあります。また、インストール後に再起動を求められることがあります。

IIS動作環境でインストールする場合は

- インストールする前に、IISをロックする可能性があるアプリケーションを実行していないことを確認してください。実行されている場合、インストールに失敗することがあります。
- インストール中はIISサービスが停止します。サービスが停止して問題が発生する時間帯には、インストールを実行しないようにしてください。なお、インストールが完了すると、IISは自動的に起動されます。
- IISの匿名アクセスを有効にする必要があります(IISの初期設定では、匿名アクセスは有効の状態です)。詳しくは、Microsoft社にお問い合わせください。

Windows Small Business Server 2008 / Windows Essential Business Server 上で利用する場合は

- Windows Small Business Server 2008 / Windows Essential Business Server 2008には、Windows Live OneCare for ServerまたはMicrosoft Forefront Threat Management Gateway Medium Business Editionが同梱されています。Bizサーバは、同梱のセキュリティサーバと共存させてサーバにインストールできます。Windows Live OneCare for Serverを削除したい場合には、コントロールパネルの「プログラムの変更と削除」からアンインストールしてください。
- Bizクライアントは、Windows Live OneCareまたはMicrosoft Forefrontのクライアントソフトウェアと共存させることはできません。Windows Live OneCareのクライアントソフトウェアがインストールされている場合は、ビジネスセキュリティのクライアントインストール時に自動的に削除されます。

01 動作環境を確認する

02 Bizサーバをインストールする

03 Bizクライアントをインストールする

04 基本的な設定を確認する

Bizサーバの標準インストールを実行する

1 / 17

インストールCD内の「WFBS.exe」アイコン(または「WFBS」アイコン)をダブルクリックしてから、表示されたインストール確認画面で「はい」をクリックします。

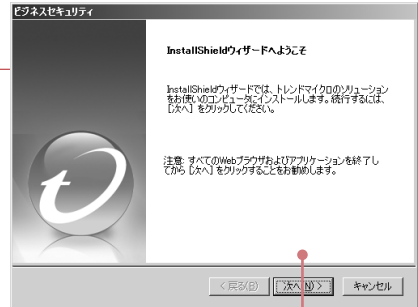
圧縮ファイルの展開(数分間かかります)が完了すると、インストーラーの初期画面が表示されます。



2 / 17

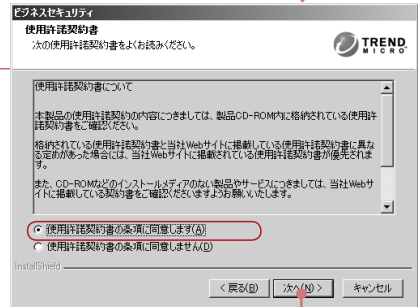
「次へ」をクリックします。

「使用許諾契約書」画面が表示されます。



3 / 17

使用許諾契約書を読んで、同意する場合は「使用許諾契約書の条項に同意します」を選んでから、「次へ」をクリックします。「セットアップステータス」画面が表示されて情報収集が行われた後に、「製品のアクティベーション」画面が表示されます。



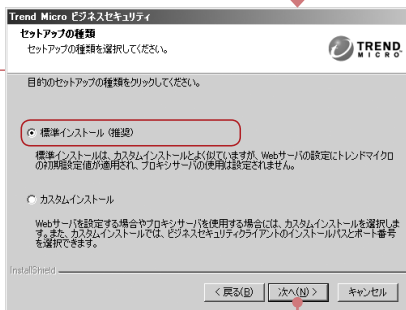
7 / 17

「標準インストール」を選んでから、「次へ」をクリックします。

「セットアップ概要」画面が表示されます。

ヒント

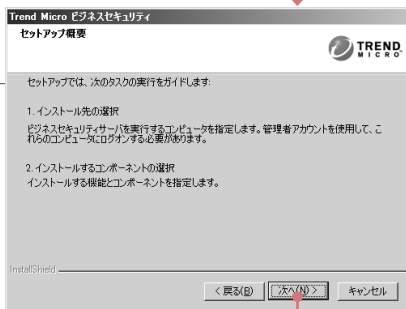
「カスタムインストール」を選んだ場合の追加設定項目については、「Bizサーバをカスタムインストールする」(21ページ)をご覧ください。



8 / 17

「次へ」をクリックします。

「インストールステージ」画面が表示されます。



9 / 17

「次へ」をクリックします。

「サーバ情報」画面が表示されます。



サーバの識別方法を指定してから、「次へ」をクリックします。

- **サーバのドメイン名で識別する場合**
 - ①: 「ドメイン名/ホスト名」を選んでから、ドメイン名を確認します。ドメイン名はFQDN（完全修飾ドメイン名）で指定してください。
- **サーバのIPアドレスで識別する場合**
 - ②: 「IPアドレス」を選んでから、サーバのIPアドレスを確認します。

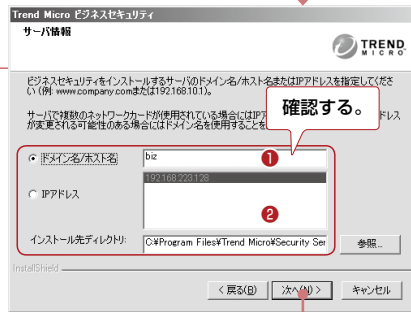
ご注意

- DHCP環境など、サーバのIPアドレスが変わる可能性がある場合は、ドメイン名/コンピュータ名で指定してください。
- サーバにネットワークカード(NIC)を複数枚挿入している場合は、サーバをIPアドレスで指定するようにしてください。サーバのIPアドレスを使用した方が、BizサーバとBizクライアントは確実に通信できます。

「次へ」をクリックすると、「SMTPサーバと通知の受信者」画面が表示されます。

インストール先のディレクトリを変更する場合は

「インストール先ディレクトリ」の「参照」をクリックして、希望のディレクトリを指定します。



01 動作環境を確認する

02 Bizサーバをインストールする

03 Bizクライアントをインストールする

04 基本的な設定を確認する

11 / 17

Bizサーバが通知メールを送信する際に使用するSMTP（メール）サーバを指定してから、「次へ」をクリックします。

（あとから管理画面で登録できるので、入力せずにインストールを続行できます）

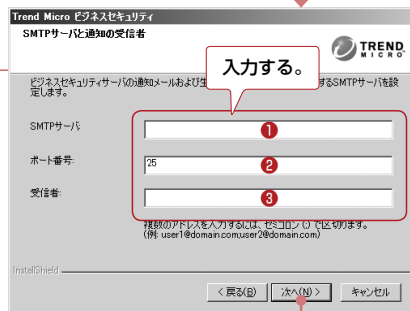
ウイルス検出時に管理者にメールで通知するようにしたい場合は、メール送信用のSMTP（メール）サーバのアドレスおよびSMTP（メール）サーバにアクセスするポート番号の情報が必要です。

- **SMTPサーバ①**：SMTP（メール）サーバ名を半角英数字で入力します。
- **ポート②**：SMTP（メール）サーバへ接続するためのポート番号を半角数字で入力します。
- **受信者③**：通知メールの送信先アドレスを半角英数字で入力します。

ご注意

複数の受信者を指定したい場合は、メールアドレスの後に半角英字のセミコロン(;)を入力して、複数のメールアドレスを入力します。

「次へ」をクリックすると、「管理者アカウントパスワード」画面が表示されます。

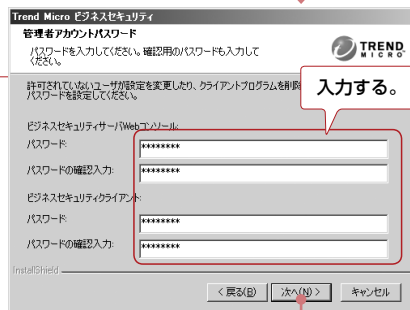


12 / 17

BizサーバとBizクライアントとそれぞれについて、半角英数字でパスワード(最大24文字)を指定してから、「次へ」をクリックします。

権限のないユーザが設定を変更したり、Bizクライアントを削除したりすることを防止できます。

「Trend Micro Smart Protection Network」画面が表示されます。



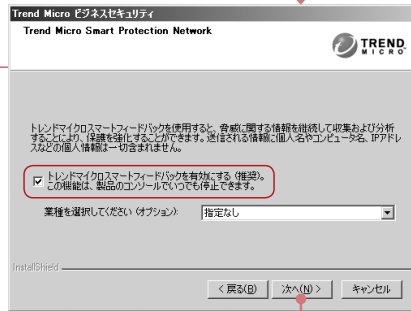
13 / 17

スマートフィードバック(20ページ)を有効にする場合は、「トレンドマイクロスマートフィードバックを有効にする(推奨)」にチェックを付けてから「次へ」をクリックします。

「コンポーネントの選択」画面が表示されます。

ヒント

チェックを付けない場合でも、Bizサーバの機能は変わりません。



01 動作環境を確認する

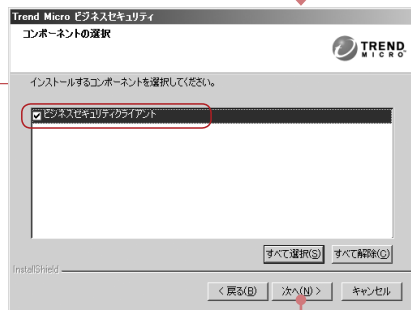
14 / 17

サーバ自身のウイルス対策として Bizクライアントをサーバにインストールする場合は、チェックを付けてから「次へ」をクリックします。

「ファイルコピー開始」画面が表示されます。

ご注意

サーバに他のウイルス対策ソフトウェアをすでにインストールしている場合は、チェックを外してから「次へ」をクリックしてください。



02 Bizサーバをインストールする

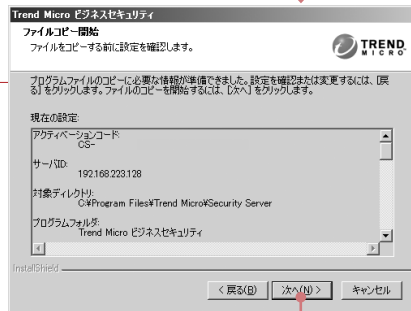
15 / 17

インストール内容を確認してから、「次へ」をクリックします。

Bizサーバのインストールが始まります。インストールが完了すると、「InstallShieldウィザード完了」画面が表示されます。

ご注意

この後、Windows Small Business Server (以下SBS) / Essential Business Server (以下EBS)アドインのインストール手順説明画面が表示されますが、SBS/EBSを利用しない場合はインストール不要のアドインとなりますので、次に進んでください(36ページ)。



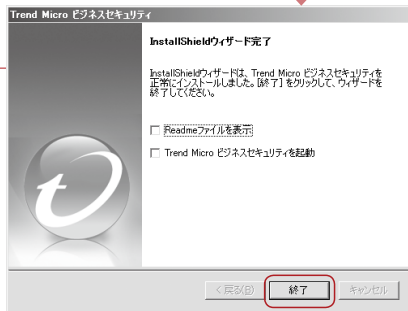
03 Bizクライアントをインストールする

04 基本的な設定を確認する

16 / 17

「終了」をクリックして、セットアッププログラムを終了します。

これでBizサーバへのインストールは終了です。



17 / 17

ビジネスセキュリティをインストールしたサーバを再起動します。

ご注意

- 必ずOSを再起動してください。
- Windowsのコンポーネントは最新のものにアップデートすることをお勧めします (Windows Updateの実施をお勧めします)。

スマートフィードバック

スマートフィードバックでは、レピュテーションチェックによって新しい脅威が特定されるたびに、トレンドマイクロのデータベースにすべて自動的に情報がアップデートされ、これ以降全世界のユーザで所定の脅威が発生することがないようにブロックされます。世界的なネットワークを通して収集された脅威に関する情報を継続的に処理することによって、トレンドマイクロは最新の脅威に対して自動的にリアルタイムの保護を提供し、セキュリティの強化を実現しています。

Bizサーバをカスタムインストールする

カスタムインストールで設定できる内容は以下のとおりです。

Webサーバの動作環境

IIS サーバ	IISがインストールされている環境で、IISをビジネスセキュリティのWebサーバとして使用する場合に指定します。
Apache 2.0 Web サーバ	Webサーバソフトウェアがインストールされていないサーバにインストールする場合、またはIISがインストールされている環境でもIISをビジネスセキュリティのWebサーバとして使用しない場合に指定します。

ご注意

Bizサーバのインストール時にIISがインストールされていない場合、あとからIISをインストールしてもBizサーバで使用するWebサーバをIISに変更できません（ビジネスセキュリティの再インストールが必要です）。

Bizサーバ/Bizクライアント間の通信ポート

HTTP ポート	ビジネスセキュリティのWebサーバに接続するためのポート番号を指定します。
SSLの有効化	ビジネスセキュリティのWebサーバに接続する際にSSL (Secure Socket Layer) を使用する場合に、SSLサーバ証明書の有効期間、SSL接続に使用するポート番号を指定します。

インターネット接続用のプロキシサーバ

プロキシの種類	プロキシの種類を指定します。
サーバ名またはIP アドレス	プロキシサーバのサーバ名またはIPアドレスを指定します。
ポート番号	プロキシサーバとの通信ポート番号を指定します。
ユーザ名/パスワード	プロキシサーバへのアクセスに認証が必要な場合に指定します。

ご注意

- ・「一般プロキシ設定」は、Bizサーバをアップデートする際に使用します。
- ・「追加サービスのためのプロキシ設定」は、Bizクライアントがトレンドマイクロの評価サーバへ接続する際に使用します。
- ・サーバとクライアントが異なるプロキシサーバを使用している場合もあります。不明な場合は、ブラウザのプロキシ設定を参照してください。
- ・インストール時にプロキシ情報を入力しなかった場合でも、後からビジネスセキュリティ管理コンソールで設定することもできます。

Bizクライアントへのインストールパス

Bizクライアントへのインストールパスと使用ポートを指定します。

ご注意

インストール後に、インストールパスを変更することはできません。

01 動作環境を確認する

02 Bizサーバをインストールする

03 Bizクライアントをインストールする

04 基本的な設定を確認する

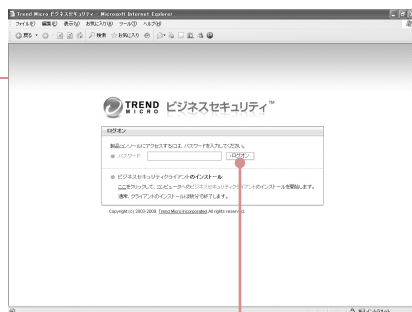
正しくインストールできたかどうか確認する

注意

- ActiveXモジュールのインストールが必要な場合は、そのままActiveXのモジュールをインストールしてから「戻る」をクリックしてページに戻り、作業を続行してください(Internet Explorerをいったん終了し、起動し直す必要がある場合もあります)。
- Internet Explorerの初期設定では、ActiveXコントロールの実行が禁止されていることがあります。管理コンソールを正常に動作させるには、Internet Explorerの信頼済みサイトリストに、BizサーバのURLを追加する必要があります。
- Internet Explore Webブラウザのセキュリティレベルを、「中」以下にしてください。
- プロキシサーバを使ってインターネットに接続する場合は、「インターネットオプション」画面でプロキシサーバの除外リストに管理コンソールのURLを設定してください。

1/2

デスクトップ上の「ビジネスセキュリティ」ショートカットアイコンをダブルクリックして、Bizサーバを起動します。



注意

お使いのWebブラウザの種類によっては、証明書エラー画面が表示されることがあります。詳しくは、「証明書のエラー画面が表示された場合は」(次ページ)をご覧ください。

2/2

18ページの手順12で指定したサーバ用のパスワードを入力して、Bizサーバの設定画面が表示されることを確認します。

ヒント

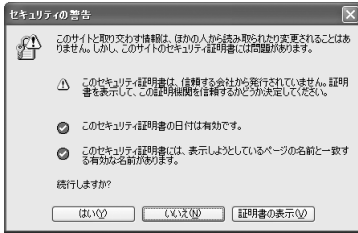
DNSによるサーバ名の解決ができない環境では、Internet Explorerのアドレスバーに表示されているURLのBizサーバ名部分を、BizサーバIPアドレスで置き換えてください。



証明書のエラー画面が表示された場合は

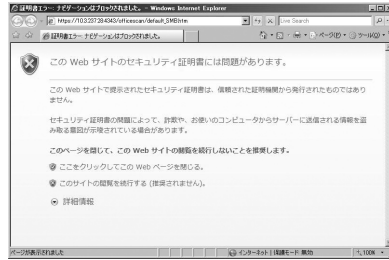
お使いのWebブラウザの種類によっては、証明書のエラー画面が表示されることがあります。

Internet Explorer 6.0の場合



「はい」をクリックして、作業を続行してください。

Internet Explorer 7.0/8.0の場合



「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)」をクリックして、作業を続行してください。

「IISサーバ」を指定してカスタムインストールを行い、管理コンソールを開けない場合は

IISの設定によっては、管理コンソールが表示されない場合があります。この問題が発生した場合は、トレンドマイクロの製品Q&Aサイトを参照してください。

製品Q&Aサイト:

〈ビジネスセキュリティ 困った時の問題解決 FAQリンク集〉
<http://esupport.trendmicro.co.jp/Pages/JP-2062710.aspx>

01 動作環境を確認する

02 Bizサーバをインストールする

03 Bizクライアントをインストールする

04 基本的な設定を確認する

03 Bizクライアントをインストールする

Bizクライアントのインストール方法には、以下の種類があります。ビジネスセキュリティを導入する環境にあわせて、最適な方法を選んでください。

- **インストール用Webページ(推奨、25ページ)**：社内のユーザがインストール用Webページにアクセスして、クライアントセットアップファイルをダウンロード・インストールします。クライアント(サーバ/PC)にMicrosoft Internet Explorer 5.5 (SP 2)以上が必要です。
- **Windowsリモートインストール(28ページ)**：管理コンソールからすべてのWindows Vista (Basic/Premiumを除く) /Server 2003/XP (Homeを除く) /2000 サーバ/PCにクライアントプログラムをインストールします。
- **Client Packager (31ページ)**：電子メールやCD-ROMなどでサーバ/PCにセットアップファイルやアップデートファイルを配布します。帯域幅の十分でない遠隔地のオフィスの場合に便利です(拡張子.msiを持つファイルを作成することもできます)。
- **ログオンスクリプトウィザード**：ウイルス対策が実施されていないコンピュータがネットワークにログオンしたときに、Bizクライアントを自動的にインストールします。
- **脆弱性検索ツール(Vulnerability Scanner)**：脆弱性検索ツールを使用して、すべてのWindows Server 2003/XP(Professionalのみ)/2000サーバ/PCにクライアントプログラムをインストールします。

本書では、「インストール用Webページ」および「Windowsリモートインストール」、「Client Packager」によるBizクライアントのインストールについて説明します。

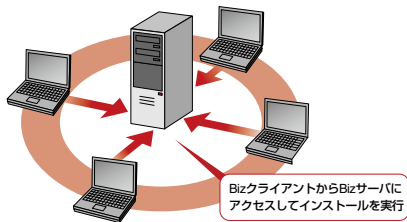
それ以外の方法でBizクライアントをインストールしたい場合は、「管理者ガイド」(PDFファイル)をご覧ください。

ご注意

付属のインストールCDからBizクライアントプログラムを直接インストールすることはできません。BizサーバプログラムをインストールCDから管理用サーバ/PCにインストールして、BizサーバからBizクライアントをインストールする必要があります。

インストール用Webページからインストールする

インストール用WebページにアクセスしてBizクライアントセットアップファイルを入手して、インストールを行います。管理者が行うのは、ユーザにインストール用WebページのURLを指示するだけです。通常はこちらをお勧めします。



インストールの前にご確認ください

- すでに他社製のウイルス対策ソフトウェアをインストールしている場合は、削除(アンインストール)してからBizクライアントをインストールしてください。
- 実行中のアプリケーションをすべて終了してから、インストールを実行してください。他のアプリケーションの実行中にインストールすると、インストールが完了するまでに時間がかかることがあります。
- インストール用Webページにアクセスするには、コンピュータにMicrosoft Internet Explorer 5.5 (SP 2)以上がインストールされている必要があります。

インストール用Webページからのインストールを実行する

1 / 4

Internet Explorerを起動し、以下のいずれかのURLを入力します。

初期設定のままインストールした場合は、Bizサーバ名はサーバのコンピュータ名です。

- **SSLが有効なBizサーバの場合：**
`https://<Bizサーバ名>:<ポート番号>/SMB/console/html/client/`
- **SSLが無効なBizサーバの場合：**
`http://<Bizサーバ名>:<ポート番号>/SMB/console/html/client/`

入力例

`https://Biz_sample:4343/SMB/console/html/client/`
(Bizサーバ名が「Biz_sample」、ポート番号が「4343」の場合)

ヒント

インストール用WebのURLを記載したメールを、管理コンソールからインストール対象となるクライアント(サーバ/PC)のユーザに送信することもできます(27ページ)。この方法を利用すると、クライアント側でアドレス入力の手間が省け、便利です。

01 動作環境を確認する

02 Bizサーバをインストールする

03 Bizクライアントをインストールする

04 基本的な設定を確認する

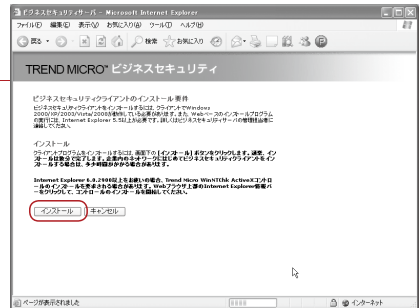
で注意

Internet Explorer 7.0を使用してインストール用WebページからBizクライアントをインストール際に認証エラーが表示されますが、インストールは正常に行われます。

2/4

「インストール」をクリックし、Bizクライアントのインストールを開始します。

Bizクライアントのインストールが開始されます。インストールが完了すると、完了のメッセージが表示されます。



で注意

- Windows Vista環境でBizクライアントのインストールを実行中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、「続行」または「OK」をクリックしてください。「キャンセル」をクリックすると、インストールを最初からやり直す必要がありますのでご注意ください。
- 「ユーザー アカウント制御」設定をBizクライアントのインストール前に一時的に「無効」に設定し、インストール完了後に「有効」に戻すと、インストール中に「ユーザー アカウント制御」画面は表示されません。



3/4

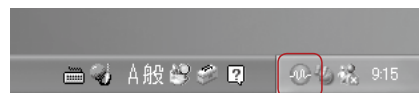
Bizクライアントをインストールしたクライアント(サーバ/PC)を再起動します。

で注意

必ずOSを再起動してください。

4/4

Bizクライアントをインストールしたクライアント(サーバ/PC)のタスクバーの通知領域に、Bizクライアントのアイコンが表示されていることを確認します。表示されていれば、正しくインストールされています。




Windowsのタスクバーの通知領域に、Bizクライアントのアイコンが表示される。

インストール用WebサイトのURLを知らせるメールを、管理コンソールからクライアントユーザに送信する

ユーザにBizクライアントのインストール用WebサイトのURLをメールで知らせることもできます。

1/3

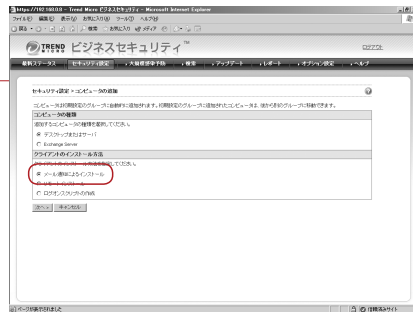
ビジネスセキュリティ管理コンソールの「セキュリティ設定」タブで、 **追加** をクリックします。

「コンピュータの追加」画面が表示されます。

2/3

「クライアントのインストール方法」欄で「メール通知によるインストール」を選んだから、「次へ」をクリックします。

「メール通知によるインストール」画面が表示されます。



3/3

件名と送信先のメールアドレスを入力してから、「適用」をクリックします。

インストール用WebサイトのURLを記載したメールが、入力したメールアドレスに送信されます。

ヒント

- クライアント(サーバ/PC)側では、受け取ったメールに添付されたURLをクリックするだけで、自動的にBizクライアントのインストールが始まります。インストールの完了後は、必ずOSを再起動してください。
- この方法でインストールに失敗する場合は、「Client Packagerでインストールする」(31ページ)をご覧ください。



01 動作環境を確認する

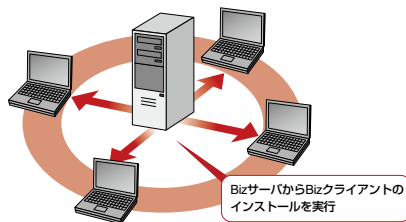
02 Bizサーバをインストールする

03 Bizクライアントをインストールする

04 基本的な設定を確認する

Windowsリモートインストールでインストールする

Bizサーバの管理コンソールから、すべてのWindows Vista (Basic/Premiumを除く) /Server 2003/XP (Homeを除く) /2000 サーバ/PCにBizクライアントプログラムを直接インストールします。



注意


- Windows XP Home EditionのPCには、リモートインストールを実行できません。また、Windows XP Professional サーバ/PCにインストールする場合に、事前にサーバ/PCの設定変更が必要な場合があります。詳しくは、トレンドマイクロの製品Q&Aサイトを参照してください。

製品Q&Aサイト:

<http://esupport.trendmicro.co.jp/corporate/search.aspx>

- Windows Vista サーバ/PCにリモートでインストールする場合は、事前に「ユーザー アカウント制御」の設定を確認してください。初期設定では、「有効」に設定されています。Bizクライアントインストールの際に一時的に「無効」に設定し、インストールが完了したら「有効」に戻してください。また、事前に追加の手順が必要になります。追加の手順については「管理者ガイド」を参照してください。
- インストールの対象となるクライアント(サーバ/PC)側で、Windowsファイアウォールの「ファイルとプリンタの共有」が許可されていない場合は、リモートインストールできません。

1/9

ビジネスセキュリティ管理コンソールの「セキュリティ設定」タブで、追加をクリックします。

「コンピュータの追加」画面が表示されます。

2/9

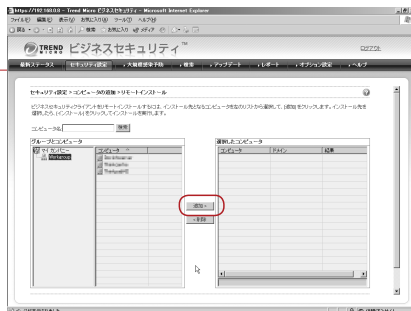
「クライアントのインストール方法」欄で「リモートインストール」を選んでから、「次へ」をクリックします。

「リモートインストール」画面が表示され、「グループとコンピュータ」欄にネットワーク上のすべてのWindowsドメインが表示されます。

3/9

リモートインストールの対象とするクライアント(サーバ/PC)を選んでから、「追加」をクリックします。

インストール先のサーバ/PCのユーザ名とパスワードの入力画面が表示されます。インストール先のサーバ/PCの管理者権限が必要です。



4/9

ユーザ名とパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

「選択したコンピュータ」欄にインストール先のサーバ/PCが表示されます。

5/9

BizクライアントをインストールするすべてのWindowsコンピュータがリストに表示されるまで、同じ手順で追加を繰り返します。

6/9

「インストール」をクリックして、選んだコンピュータにBizクライアントをインストールします。

7/9

「はい」をクリックして、Bizクライアントのインストールを開始します。

各インストール先サーバ/PCへのプログラムファイルのコピーが始まると、進行状況の画面が表示されます。

対象のコンピュータへのインストールが完了すると

選択されたコンピュータのリストの「結果」フィールドにインストールステータスが表示され、緑のチェックマークと共にコンピュータ名が表示されます。

ご注意

Bizサーバをすでに実行中のコンピュータには、WindowsリモートインストールによってBizクライアントはインストールされません。

01 動作環境を確認する

02 Bizサーバをインストールする

03 Bizクライアントをインストールする

04 基本的な設定を確認する


8/9

Bizクライアントをインストールしたクライアント(サーバ/PC)を再起動します。

ご注意

必ずOSを再起動してください。

9/9

Bizクライアントをインストールしたクライアント(サーバ/PC)のタスクバーの通知領域に、Bizクライアントのアイコン  が表示されていることを確認します。

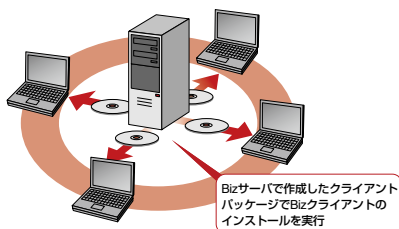
表示されていれば、正しくインストールされています。



Windowsのタスクバーの通知領域に、Bizクライアントのアイコンが表示される。

Client Packagerでインストールする

Bizサーバをインストールした管理用サーバ/PCで、Bizクライアントをインストールするためのセットアップパッケージを作成します。作成した自己解凍形式のファイルを電子メールやCD-ROMなどで配布・実行することで、ネットワーク接続できない環境でもインストールできます。



ご注意

- 他のインストール方法で失敗した場合にお試しください。
- インストールしたいコンピュータの管理者権限が必要です。

1/6

Bizサーバをインストールしたコンピュータ(管理用サーバ/PC)で、Client Packager (ClnPack.exe)をダブルクリックします。

「Client Packager」画面が表示されます。

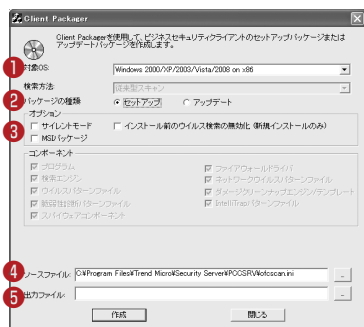
標準インストールの場合、ClnPack.exeは以下の場所にインストールされています。

C: ¥Program Files ¥Trend Micro ¥Security Server ¥PCCSRV ¥Admin ¥Utility ¥ClientPackager ¥ClnPack.exe

2/6

配布するパッケージの内容を設定してから、「作成」をクリックしてセットアップパッケージを作成します。

- **対象OS①**：インストール先コンピュータのOSを選びます。
- **パッケージの種類②**：「セットアップ」を選びます。
- **オプション③**：必要な項目にチェックを付けます。
- **ソースファイル④**：ofcscan.iniファイルの場所を指定します。標準インストールの場合、以下の場所にインストールされています。



C: ¥Program Files ¥Trend Micro ¥Security Server ¥PCCSRV ¥ofcscan.ini

- **出力ファイル⑤**：セットアップファイルを出力したいファイル名とパスを入力します。

01 動作環境を確認する

02 Bizサーバをインストールする

03 Bizクライアントをインストールする

04 基本的な設定を確認する

3/6

Bizクライアントをインストールするコンピュータに、作成したセットアップパッケージをコピーします。

電子メールに添付して送信したり、CD-ROM/USBメモリ(外部記憶メディア)経由でコピーするなどして、BizクライアントをインストールしたいPCにコピーします。

4/6

Bizクライアントをインストールするコンピュータで、コピーしたセットアップパッケージをダブルクリックします。

画面の指示に従って、Bizクライアントをインストールします。

ご注意

- インストールの完了後は必ずOSを再起動してください。
- Client Packagerを使用したインストールについて詳しくは、製品Q&Aサイトをご覧ください。
クライアントプログラムのインストール方法(Client Packagerを使用したインストール)
<http://esupport.trendmicro.co.jp/Pages/JP-2062693.aspx>


5/6

Bizクライアントをインストールしたクライアント(サーバ/PC)を再起動します。

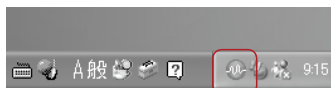
ご注意

必ずOSを再起動してください。

6/6

Bizクライアントをインストールしたクライアント(サーバ/PC)のタスクバーの通知領域に、Bizクライアントのアイコンが表示されていることを確認します。

表示されていれば、正しくインストールされています。



Windowsのタスクバーの通知領域に、Bizクライアントのアイコンが表示される。

04 基本的な設定を確認する

インストール時の基本設定

項目	内容	初期設定値
リアルタイム検索	ファイルにアクセスした瞬間にウイルス・スパイウェアを検索する。	有効
予約検索	定期的にウイルス・スパイウェアを検索する。	無効
挙動監視	ビジネスセキュリティクライアントが常にクライアントを監視し、OS やインストール済みのソフトウェアに異常な変更が加えられていないかどうかを確認する。	有効
自動アップデート	最新のウイルス対策に必要なコンポーネント(ウイルスパターンファイルなど)がトレンドマイクロのアップデートサーバに公開されているかどうか確認し、最新版が公開されている場合は自動的にダウンロードして、Bizクライアントに配信する。	有効
最新コンポーネントの配信	インターネット上のトレンドマイクロのサーバから、管理サーバにダウンロードされ、すべてのBizクライアント上のウイルス対策製品に、最新のコンポーネントを自動的に配信する。	自動
ファイアウォール	インストール後有効にしてください。	無効
Webアクセス	危険なサイトにアクセスすることを制限する。	有効(社内(低)/社外(中))
迷惑メール対策	管理コンソールから有効にしてください。Bizクライアントへの自動配信後、電子メールクライアント起動時にプラグインとしてインストールされます。	無効
URLフィルタ	業務に無関係なサイトへアクセスすることを制限する。	有効(低)
スマートスキャン	クライアントにあるパターンファイルのみに依存せず必要に応じてスキャンサーバに問い合わせを行い、ウイルス/スパイウェア検索の負荷を軽減する(リアルタイム検索/予約検索/手動検索のすべてに影響します)。	無効
メール検索	管理コンソールから有効にしてください。	無効
スマートフィードバック	レピュテーションチェックによって新しい脅威が特定されるたびに、トレンドマイクロのデータベースに情報を自動的に送信する。	有効

各種設定の変更、設定の追加については、「管理者ガイド」(PDFファイル)をご覧ください。

01 動作環境・使用環境を確認する

02 Bizサーバをインストールする

03 Bizクライアントをインストールする

04 基本的な設定を確認する

ご注意

- Bizクライアントのユーザからの操作は、初期設定では以下の制限があります。
 - Bizクライアントを管理者に無断でアンインストール、停止することはできません。
 - Bizクライアントの設定を管理者に無断で変更することはできません。
- 各クライアントで設定を変更できるようにするための設定は、「管理者ガイド」(PDFファイル)をご覧ください。
- トレンドマイクロ推奨設定を選択すると、簡易に設定できます。

ビジネスセキュリティに付属するツールの動作要件

ビジネスセキュリティに付属する迷惑メール対策ツールおよびTrend プロテクトの動作要件は以下の通りです。

迷惑メール対策ツール：

対応OS：

- Microsoft Windows XP (SP2およびSP3) 32ビット
- Microsoft Windows Vista (SP1およびSP2を含む) 32ビットおよび64ビット

メールソフト：

- Microsoft Outlook 2000/2002/2003/2007
- Microsoft Outlook Express 6 SP2
- Windows Mail (Vista)

Trend プロテクト：

対応OS：

- Microsoft Windows 2000 Professional
- Microsoft Windows XP (SP2およびSP3) 32ビット
- Microsoft Windows Vista (SP1およびSP2を含む) 32ビット

対応Webブラウザ：

- Microsoft Internet Explorer 6.0
- Microsoft Internet Explorer 7.0

対応検索エンジン：

- Google
- Yahoo!

管理コンソールメニュー

現在のネットワーク上のサーバやPCの保護状況を確認する

管理コンソールにログインし、「最新ステータス」画面のアラートを確認します。

- **脅威ステータス**：サーバ、PCに対する最新の保護状態を表示します。
- **システムステータス**：Bizサーバのディスク領域の監視、脆弱なクライアントのアップデート状況などを表示します。
- **ライセンス**：ライセンス情報を表示します。

表示内容について詳しくは、「管理者ガイド」(PDFファイル)をご覧ください。



管理コンソールに用意されている機能を活用する

管理コンソール上部のメニュー（タブ）をクリックして切り換えて、様々な機能を利用できます。詳しくは、「管理者ガイド」(PDFファイル)をご覧ください。



- **最新ステータス**：ネットワーク全体の保護状況の概況を表示します。
- **セキュリティ設定**：ネットワーク全体で保護されているクライアントの一覧表示や最新の詳細確認、グループの管理や追加・設定、クライアントの追加などを行います。
- **大規模感染**：大規模感染活動の表示、脆弱性の検索・表示、自動復旧(クリーンナップ)を行います。
- **検索**：検索詳細設定を行います。
- **アップデート**：アップデートに関する詳細設定を行います。
- **レポート**：ログ情報の表示やエクスポート、レポートの自動作成を行います。
- **オプション設定**：Bizサーバの詳細設定やネットワーク全体に関わる設定を行います。
- **ヘルプ**：マニュアルやオンライン購入などへのリンクが提供されています。

ヒント

Bizサーバが提供する各種セキュリティ機能の詳細設定は、セキュリティ設定から対象とするグループを選んでから「設定」をクリックして表示される設定画面で行います。詳しくは、「管理者ガイド」(PDFファイル)をご覧ください。

01 動作環境を確認する

02 Bizサーバをインストールする

03 Bizクライアントをインストールする

04 基本的な設定を確認する

Windows Small Business Server 2008 / Windows Essential Business Server 2008用のアドインを使用する

- ビジネスセキュリティ 6.0には、Windows Small Business Server (SBS) 2008 とWindows Essential Business Server (EBS) 2008 用のアドインが用意されています。これらのアドインをインストールすることで、最新のセキュリティステータス情報とシステムステータス情報をSBSコンソールまたはEBSコンソールで表示できます。



SBSコンソールでの表示例

- Windows Small Business Server 2008 / Windows Essential Business Server 2008が稼動しているサーバにビジネスセキュリティをインストールする際は、自動的にこれらのアドインがインストールされます。
- 手動でアドインをインストールする場合は、Bizサーバの管理コンソールの「オプション設定」メニューから「ツール」→「アドイン」タブを選び、ダウンロード・インストールしてください。詳しくは、管理者ガイドをご覧ください。

ご注意

「TrendMicro Client/Server Security Master Service」が起動していない場合には、Small Business Server/Essential Business Serverコンソール上には情報が表示されません。

Bizクライアントの設定を変更する

ウイルス・スパイウェアの検索・処理やメール検索、不正サイトへの接続ブロック機能、ファイアウォール設定を変更するには、以下の手順で操作します。

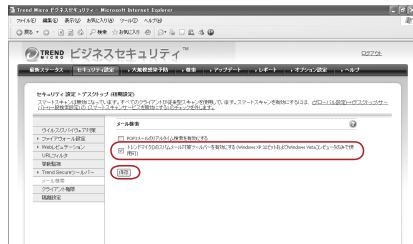
ウイルス・スパイウェアの検索・処理設定を変更する

- 1 管理コンソールの「セキュリティ設定」タブで設定したいグループを選んでから、**設定** をクリックします。
- 2 左側に表示されているメニューから、設定を変更したい項目をクリックします。
- 3 必要に応じて、表示された詳細設定項目を変更します。



迷惑メール対策ツールを展開する

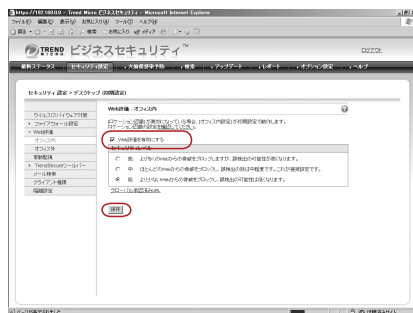
- 1 管理コンソールの「セキュリティ設定」タブで設定したいグループを選んでから、**設定** をクリックします。
- 2 左側に表示されているメニューから、「メール検索」をクリックします。
- 3 右側に表示された「トレンドマイクロのスパムメール対策ツールバーを有効にする」にチェックを付けてから、「保存」をクリックします。



設定内容がBizクライアントに自動配信されます。アップデート完了後にBizクライアント側で電子メールクライアントを起動すると、自動的にインストールが開始されます。


不正サイトへの接続をブロックする

- 1 管理コンソールの「セキュリティ設定」タブで設定したいグループを選んでから、**設定** をクリックします。
- 2 左側に表示されているメニューから、「Web評価」をクリックします。
- 3 右側に表示された「Web評価を有効にする」にチェックを付けてからセキュリティレベルを指定し、「保存」をクリックします。

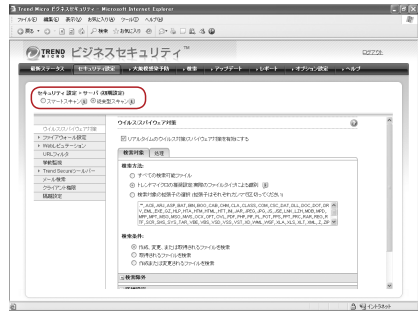


設定内容がBizクライアントに自動配信され、設定が反映されます。

スマートスキャンを無効にする／有効にする

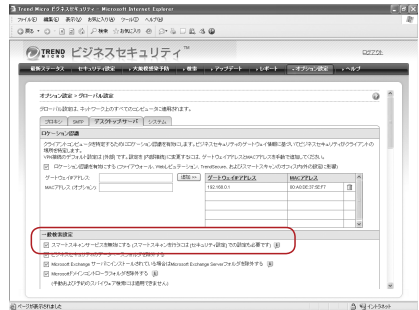
- 1 管理コンソールの「セキュリティ設定」タブで「サーバ」を選んでから、設定をクリックします。
- 2 左側に表示されているメニューから、「ウイルス／スパイウェア対策」をクリックします。
- 3 スマートスキャンの設定を変更します。
 - 無効にする場合：「従来型スキャン」を選んでから、「保存」をクリックします。
 - 有効にする場合：「スマートスキャン」を選んでから、「保存」をクリックします。

設定内容がBizクライアントに自動配信され、設定が反映されます。



ご注意

管理コンソールの「オプション設定」タブ「グローバル設定」- 「デスクトップ/サーバ」タブ内の「スマートスキャンサービスを無効にする」にチェックが付いている場合は、上記の操作メニューが表示されないため、設定を変更できません。



困ったときは・ お問い合わせ

よくあるお問い合わせ

以下のURLにアクセスして、下のクイックリンクから「サポート」をクリックしてください。

<http://esupport.trendmicro.co.jp/corporate/default.aspx>

キーワードまたは
ソリューションID

click!

システム要件を確認したい

製品Q&A <ビジネスセキュリティを導入する前に確認しておきたい項目のリンク集>をご覧ください。

キーワードまたはソリューションID：2062711

インストール方法／アンインストール方法を確認したい

- 管理者ガイド・クイックスタートガイドをご覧ください。
- 製品Q&A <サーバ/クライアントプログラムのインストール方法、アンインストール方法のリンク集>をご覧ください。

キーワードまたはソリューションID：2062697

アップデート方法を確認したい

- 管理者ガイドをご覧ください。
- 製品Q&A <ビジネスセキュリティサーバ/クライアントのパターンファイル、検索エンジンアップデート方法についてのリンク集>をご覧ください。

キーワードまたはソリューションID：2062712

旧バージョンのTrend Micro ビジネスセキュリティからバージョンアップしたい

製品Q&A <ビジネスセキュリティ 困った時の問題解決 FAQリンク集>をご覧ください。

キーワードまたはソリューションID：2062710

他のウイルス対策製品を使っていますが、ビジネスセキュリティへ入れ替えたい

他のウイルス対策製品をアンインストールしてから、本製品をインストールしてください。

管理コンソールでの操作/設定方法を確認したい

管理者ガイドをご覧ください。

インストール/アンインストールできない

製品Q&A〈サーバ/クライアントプログラムのインストール方法、アンインストール方法のリンク集〉をご覧ください。

キーワードまたはソリューションID：2062697

サポートセンターへ問い合わせる前に、事前に何を確認しておくが良いですか？

製品Q&A〈サポートセンターへ問い合わせる前に事前に確認しておきたいこと〉をご覧ください。

キーワードまたはソリューションID：2062748

「管理者ガイド」はどこで入手できますか。

下記のいずれかから入手できます。

- パッケージに同梱されているCD-ROM内のPDF
- Webページからダウンロード〈Trend Micro ビジネスセキュリティ〉
<http://www.trendmicro.co.jp/download/product.asp?productid=49>

「クイックスタートガイド」はどこで入手できますか。

下記のいずれかから入手できます。

- パッケージに同梱されているCD-ROM内のPDF
- パッケージに同梱されている冊子
- Webページからダウンロード〈Trend Micro ビジネスセキュリティ〉
<http://www.trendmicro.co.jp/download/product.asp?productid=49>

各種お問い合わせ先

法人カスタマーセンター

ユーザ登録や契約内容などは法人カスタマーセンターへご相談ください。

- Webフォームからのお問い合わせ
<http://jp.trendmicro.com/jp/support/contact/enterprise/>
- 電話/FAX
本パッケージに同梱されている「製品サポートガイド」をご覧ください。

テクニカルサポートセンター

製品の動作や運用の際にお困りのことがありましたら、テクニカルサポートセンターまでご連絡ください。

- 電話でのお問い合わせ窓口は、混雑してつながりにくくなる場合があるため、Webサイトからのお問い合わせをお勧めいたします。
<https://inet.trendmicro.co.jp/esolution/supform.asp>
- お問い合わせの際にはアクティベーションコードが必要になります。あらかじめお手元に用意してからお問い合わせください。
- よくあるお問い合わせへの対処方法は、製品Q&Aでもご覧いただけます。
〈ビジネスセキュリティ 困った時の問題解決 FAQリンク集〉
<http://esupport.trendmicro.co.jp/Pages/JP-2062710.aspx>
〈製品Q&A (中小/中堅企業のお客さま)〉
<http://esupport.trendmicro.co.jp/supportjp/smb/search.do>
- 製品Q&Aを参考にお問い合わせ内容を事前に整理していただくと、速やかな対応開始につながりますので、ご協力をお願いいたします。
サポートセンターへ問い合わせる前に事前に確認しておきたいこと
<http://esupport.trendmicro.co.jp/Pages/JP-2062748.aspx>

トレンドマイクロ サポート情報 (Webサイト)

<http://jp.trendmicro.com/jp/support/index.html>

キーワードまたは
ソリューションID

click!



製品Q&Aの検索欄にIDを入力しても検索できます！

検索欄はこちら→<http://esupport.trendmicro.co.jp/supportjp/smb/search.do>

安心を、ひとつ上のステージへ。



トレンドマイクロ株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿マインズタワー

TEL 03-5334-3601 FAX 03-5334-3639

製品サポート情報 <http://esupport.trendmicro.co.jp/>

www.trendmicro.co.jp

P/N CSSFFF-AE0209